

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
5	①	産業部	遊休農地の解消と樹園地の再編を図るため、市民の主体的な運営組織づくりを支援	B	なし	D	要検討	D	要検討	世羅・大久保
6	①	建設部	市民の生命や財産を守るため、自主的な耐震化の取組を支援するとともに耐震化に関する市民意識の醸成	B	妥当	D	要検討	B	妥当	石原・功刀
7	①	建設部	市民の健康と生活環境を守るため、吹付けアスベストに関する自主的な健康障害予防や生活環境保全の取組を支援	B	要検討	D	要検討	D	要検討	伊藤・村松
10	②	文化市民部	さまざまな分野の地域人材育成講座の開催により地域人材を育成	B	妥当	B		D	妥当	諏訪・富田
11	②	文化市民部	地域の身近な課題に共に取り組むため、「住みよい暮らしづくり計画」の参加校区の拡大と体制づくりを支援	B	妥当	A	妥当	D	妥当	世羅・大久保
12	②	文化市民部	日本人と外国人が共生する地域づくりを目指し、地域団体等と多文化共生モデル地区事業を実施	B	要検討	D	要検討	D	要検討	石原・功刀
13	②	文化市民部	外国人児童の日本語の学習支援として、地域団体等とプレスクール事業やアフタースクール事業を実施	B	妥当	B	要検討	B	要検討	伊藤・村松
14	②	福祉部	ひとり暮らし世帯等への見守り及び買物支援などを行う高齢者安心生活サポート事業の拡充	D	妥当	D	妥当	D	要検討	諏訪・富田
15	②	福祉部	支え合いや助け合いの地域福祉を推進するため、担い手の育成とボランティア活動等の取組を促進	A	妥当	B	要検討	B	要検討	世羅・大久保

No.	重点項目	部局 (H26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
17	②	健康部	地域コミュニティの主体的な健康づくり活動の活性化を図るため、健康のまちづくり事業への参加校区の拡大とプランづくりを支援	D	妥当	D	要検討	D	要検討	石原・ 功刀
18	②	環境部	地域とともに生活環境や自然環境の保全及びごみ減量に取り組むため、530運動など地域の主体的な環境活動の活性化を支援	B	妥当	B		D	妥当	伊藤・ 村松
20	②	都市計画部	地域の公共交通環境充実のため、コミュニティバス運行に向けた地域の主体的な取組を支援	B	妥当	A	妥当	B	要検討	諏訪・ 富田
24	③	企画部	市民、事業者、行政が一体となった「オール豊橋」の体制づくり	A	妥当	B	妥当	B	妥当	世羅・ 大久保
25	③	企画部	民間と連携した取組強化を図る仕組みづくり	B	妥当	D	妥当	D	要検討	石原・ 功刀
26	③	企画部	「アイラブとよはし運動」の推進による市民への情報発信と市民の愛着意識の醸成	B	妥当	B	妥当	B	妥当	伊藤・ 村松
27	③	産業部	豊橋産農産物のブランド化を促進するため、「農産物ブランド化のためのプロモーション計画」の策定と推進	B	なし	B	要検討	B	要検討	諏訪・ 富田
28	③	産業部	観光資源の魅力とPRの促進に向けて豊橋観光コンベンション協会等との連携強化	D	要検討	D	要検討	D	要検討	世羅・ 大久保

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
29	③	産業部	首都圏活動や市内でのイベント開催など協働によるプロモーション活動の仕組みづくりと推進	B	妥当	B	妥当	B	妥当	石原・ 功刀
30	③	産業部	新たな市民参画手法による三河港の認知度の向上	A	妥当	D	要検討	B	妥当	伊藤・ 村松
31	③	都市計画部	LRT都市サミットの誘致に向けて、とよはし市電を愛する会、商工会議所などと連携した取組	B	要検討	B	要検討	C	妥当	諏訪・ 富田
32	③	総合動植物公園部	総合動植物公園、自然史博物館と周辺の社会教育施設との連携による「のんほいパーク100万人プロジェクト」の仕組みづくり	B	妥当	B	妥当	B	妥当	世羅・ 大久保
34	④	文化市民部	芸術文化交流施設のPFI手法による施設の供用開始	B	妥当	B	妥当	C	妥当	石原・ 功刀
41	④	産業部	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直し	D	要検討	D	要検討	D	要検討	伊藤・ 村松
42	④	産業部	次世代ものづくり人材の育成と事業者が参画しやすい環境づくり	A	妥当	A		D	妥当	諏訪・ 富田
44	④	建設部	道路等の維持管理などに関し、民間活力の導入可能性を検討	E	なし	E	要検討	E	要検討	世羅・ 大久保
46-1	④	都市計画部	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討	B	妥当	B	妥当	D	要検討	石原・ 功刀
46-2	④	総合動植物公園部	既存の指定管理者制度導入施設の効率的・効果的な運営の見直しと新たな導入施設の可能性を検討					A	妥当	伊藤・ 村松
48	④	消防本部	救命率の向上を図るため、AED等を配置した登録事業所等（救命の駅）の拡大	A	妥当	D	要検討	B	妥当	諏訪・ 富田

No.	重点項目	部局 (H26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
49	④	教育部	学校給食調理業務における民間活力導入の拡大	B	妥当	B	妥当	B	妥当	世羅・大久保
52	⑤	防災危機管理課	自主防災リーダーの育成	D	要検討	D	要検討	D	要検討	石原・功刀
53	⑤	企画部	多様なメディアを活用した広報活動の推進と双方向の情報受発信の効率的・効果的な仕組みの充実	B	妥当	B	要検討	B	妥当	伊藤・村松
58	⑤	環境部	光化学スモッグ発令に関する関係部局との連携強化と市民への迅速な情報提供の体制づくり	B	要検討	B	要検討	B	要検討	諏訪・富田
64	⑥	文化市民部	協働を推進するための職員のサポート体制の強化	B	妥当	B	妥当	D	要検討	世羅・大久保
65	⑥	文化市民部	市民協働に関する職員研修の充実	B	要検討	D	要検討	D	要検討	石原・功刀
67	⑥	産業部	勤労青少年の自主活動に関する支援の強化	A	妥当	D	妥当	D	妥当	伊藤・村松
69	⑥	都市計画部	コミュニティバス運行に対する効果的な支援	B	妥当	A	妥当	B	妥当	諏訪・富田
72	⑦	総務部	「人材育成基本方針」の改訂	B	なし	D	妥当	C	妥当	世羅・大久保
79	⑨	企画部	東三河広域協議会事務局の組織体制の充実	B	妥当	B	妥当	D	要検討	石原・功刀

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
81	㊟	文化市民部	「どすごいネット」などを活用した東三河地域の市民活動情報の充実	D	要検討	D	要検討	D	要検討	伊藤・村松
83	㊟	健康部	東三河地域の医療体制の確保に向けた連携強化	B	妥当	B	妥当	D	要検討	諏訪・富田
85	㊟	産業部	東三河地域の産業活性化に向けたサイエンスクリエイトの広域的な体制強化	B	妥当	D	要検討	D	妥当	世羅・大久保
87	㊟	産業部	農産物輸出の推進に向けた連携強化	B	妥当	B	要検討	B	要検討	石原・功刀
92	⑩	会計課	支出関係書類が法令・予算に違反していないかどうかの厳格な確認	B	要検討	D	要検討	D	妥当	伊藤・村松
96	⑫	総務部	職員の給与支給明細書へ有料広告掲載など	A	妥当	B		B	妥当	諏訪・富田
97	⑫	財務部	滞納整理に関する広域共同処理体制の整備	A	妥当	A		D	要検討	世羅・大久保
98	⑫	財務部	徴収業務や納付窓口の充実と口座振替の加入促進による収入率の向上	B	妥当	B		B	妥当	石原・功刀
99	⑫	財務部	固定資産地理情報システム導入による適正課税と収入の確保	B	妥当	A		B	妥当	伊藤・村松
100	⑫	財務部	全庁的な有料広告掲載の促進と自動販売機の貸付方法の見直しなど	B	妥当	B		B	妥当	諏訪・富田
101	⑫	財務部	未利用地の売却による売却収入の確保	B	妥当	A		D	妥当	世羅・大久保
102	⑫	財務部	債権の適正な管理	B	妥当	B		B	妥当	石原・功刀
103-1	⑫	企画部	広報紙への有料広告掲載など	B	要検討	D	妥当	A	妥当	伊藤・村松

No.	重点項目	部局 (H26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
103-2	⑫	産業部	市有地売却による自主財源の確保					C	妥当	諏訪・富田
104	⑫	文化市民部	豊橋市国際交流協会など団体の自主財源の確保と自立度の向上	B	妥当	D	妥当	B	要検討	世羅・大久保
105	⑫	福祉部	地域福祉センター使用料の見直しなど	D	要検討	D	要検討	D	要検討	石原・功刀
106	⑫	健康部	余熱利用施設の集客力アップ策による使用料収入増などの自主財源確保	A	妥当	B		A	妥当	伊藤・村松
107	⑫	環境部	クリーンカレンダー等への有料広告掲載など	D	要検討	A	妥当	D	要検討	諏訪・富田
108	⑫	産業部	競輪のホームページへのバナー広告掲載など	D	要検討	D	要検討	A	要検討	世羅・大久保
109	⑫	総合動植物公園部	総合動植物公園のイベント企画等による自主財源の確保	D	なし	B	妥当	A	妥当	石原・功刀
110-1	⑫	総合動植物公園部	自然史博物館などのホームページへバナー広告掲載など	D	要検討	D	要検討	B	要検討	伊藤・村松
110-2	⑫	教育部	中央図書館などのホームページへバナー広告掲載など					D	要検討	諏訪・富田
111	⑬	財務部	使用料、手数料の全庁的な見直し	B	妥当	B		B	妥当	世羅・大久保
112	⑬	文化市民部	文化施設の利用料金の見直しなど	B	なし	B		B	妥当	石原・功刀
113	⑬	健康部	看護専門学校の授業料、受験料、入学料などの見直し	B	妥当	B		B	妥当	伊藤・村松
114	⑬	健康部	歯周病検診などの自己負担額の見直し	D	要検討	D	妥当	D	妥当	諏訪・富田

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
115	⑬	環境部	ごみの減量化に向けた経済的手法の導入など	B	なし	B	要検討	D	要検討	世羅・大久保
116	⑬	産業部	各種研修受講料など自己負担額の見直しなど	B	なし	B		D	要検討	石原・功刀
117	⑬	建設部	市営住宅の施設使用料の見直しなど	B	妥当	D	妥当	D	妥当	伊藤・村松
118-1	⑬	総合動植物公園部	総合動植物公園の駐車場使用料の見直しなど	D	要検討	D	要検討	B	要検討	諏訪・富田
118-2	⑬	教育部	公営児童クラブ利用料などの見直し					D	要検討	世羅・大久保
119	⑭	財務部	公共施設マネジメントの強化	D	なし	B	要検討	B	要検討	石原・功刀
120	⑭	財務部	市債残高の縮減	B	妥当	B		B	妥当	伊藤・村松
122	⑮	総務部	旅費などの執行経費の効率化と事業の見直し	A	要検討	B		A	妥当	諏訪・富田
123	⑮	総務部	情報システムの全体最適化の推進	A	妥当	A		A	妥当	世羅・大久保
124	⑮	財務部	公用車台数の見直しなど事業の見直し	D	要検討	D	妥当	D	妥当	石原・功刀
125	⑮	財務部	公共工事の適正かつ効率的な執行管理と職員の技術力の向上	B	妥当	B		B	妥当	伊藤・村松

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
126	⑮	企画部	広報活動経費の効率化など事業の見直し	B	妥当	D	要検討	D	要検討	諏訪・富田
127	⑮	企画部	大学連携補助金の適正化など補助金、負担金の見直し	A	妥当	A		A	妥当	世羅・大久保
128	⑮	文化市民部	交通安全関係事業など事業の見直し	A	妥当	D		D	要検討	石原・功刀
129	⑮	文化市民部	防犯関係負担金など補助金、負担金の見直し	B	妥当	B		B	妥当	伊藤・村松
130	⑮	福祉部	施設運営費の効率化など事業の見直し	D	妥当	D	妥当	D	妥当	諏訪・富田
131	⑮	福祉部	各種団体等への補助金、負担金の見直し	D	妥当	D	妥当	B	妥当	世羅・大久保
132	⑮	健康部	予防接種事業の効率的な実施など事業の見直し	B	要検討	B		B	要検討	石原・功刀
133	⑮	健康部	障害児自立支援医療給付事業など補助金、負担金の見直し	B	妥当	D	妥当	D	妥当	伊藤・村松
134	⑮	環境部	ペットボトルの拠点収集の廃止など事業の見直し	B	妥当	B		B	妥当	諏訪・富田
135	⑮	環境部	浄化槽設置費補助金など補助金、負担金の見直し	D	妥当	D	妥当	A	妥当	世羅・大久保

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
136	⑮	産業部	市民ふれあい農園の効率的な運営など事業の見直し	B	妥当	D	妥当	D	要検討	石原・ 功刀
137	⑮	産業部	TMO支援事業など補助金、負担金の見直し	A	妥当	D	妥当	D	妥当	伊藤・ 村松
138	⑮	建設部	道路台帳のデジタル化による効率化など事業の見直し	B	妥当	B		D	妥当	諏訪・ 富田
139	⑮	都市計画部	苗ほ管理事業など事業の見直し	B	要検討	B	妥当	B	妥当	世羅・ 大久保
140	⑮	都市計画部	豊橋みどりの協会補助金など補助金、負担金 の見直し	B	要検討	D	妥当	D	要検討	石原・ 功刀
141-1	⑮	防災危機管理課	防災無線等の維持管理経費の効率化など事業 の見直し	A	妥当	A		D	妥当	伊藤・ 村松
141-2	⑮	消防本部	消防車両等の維持管理経費の効率化など事業 の見直し					A	妥当	諏訪・ 富田
142-1	⑮	防災危機管理課	自主防災組織の活動資機材等整備などの補助 金、負担金の見直し	A	妥当	A		B	妥当	世羅・ 大久保
142-2	⑮	消防本部	街頭消火器補助事業など補助金、負担金 の見直し					B	妥当	石原・ 功刀
143-1	⑮	総合動植物公園部	自然史博物館の維持管理経費の効率化など事業 の見直し	A	妥当	D	妥当	D	妥当	伊藤・ 村松
143-2	⑮	教育部	学校給食配送車の維持管理経費の効率化など事 業の見直し					D	妥当	諏訪・ 富田
144	⑮	教育部	小中学校の補助金など、補助金、負担金 の見直し	B	妥当	B		B	妥当	世羅・ 大久保

No.	重点項目	部局 (H 26)	取組内容	23		24		25		
				内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	内部評価	外部評価	班
145	⑩	市民病院	医療スタッフの確保 ○優秀な人材の育成 ○医療スタッフの負担軽減 ○医師の処遇改善 ○労働環境の整備	B	妥当	B	妥当	B	妥当	石原・ 功刀
146	⑩	市民病院	救急医療の充実 ○救急医療の充実	B	妥当	D	要検討	A	妥当	伊藤・ 村松
147	⑩	市民病院	周産期医療の充実 ○総合周産期母子医療センターの開設 ○バースセンターの開設	B	妥当	B	妥当	B	妥当	諏訪・ 富田
149	⑩	市民病院	病診連携の推進 ○地域医療機関との連携強化	B	妥当	D	妥当	D	妥当	世羅・ 大久保
155	⑩	上下水道局	組織の効率化と人材育成 ○効率的な業務執行体制の確立 ○技術の継承と職員研修の充実	B	妥当	B		D	妥当	石原・ 功刀
156	⑩	上下水道局	経営基盤の確立 ○財務基盤の強化 ○水道料金及び下水道使用料収入の確保 ○資産の有効活用	B	妥当	B		D	妥当	伊藤・ 村松